

名鉄病院での小児科研修について

小児科専門医は初期臨床研修終了後、3年の専門研修で育成されます。3年の専門研修期間中、基幹施設及び連携施設でそれぞれ最低6ヶ月以上の研修を行います。

名鉄病院小児科では小児科全般に **common disease** を中心に豊富な症例を経験できます。救急は二次救急で、名古屋市小児二次輪番制度に参加していますので症例は豊富です。軽症から中等症まで幅広い症例を経験できます。重症症例や特殊な疾患は基幹病院での研修で経験していただく予定です。

当院は①名古屋大学医学部附属病院を基幹病院とする「名古屋大学医学部附属病院小児科専門研修プログラム」、②名古屋第一赤十字病院を基幹病院とする「名古屋第一赤十字病院小児科専門研修プログラム」の連携病院となっています。各プログラムの詳細については、下記を参照ください。

[① 名古屋大学医学部附属病院 名古屋大学医学部附属病院小児科専門研修プログラム](#)

[② 名古屋第一赤十字病院 名古屋第一赤十字病院小児科専門研修プログラム](#)

当院での小児科専門研修プログラムを希望する場合は①もしくは②の基幹施設のいずれかのプログラムに応募して、そのプログラムに採用され小児科専攻医になる必要があります。専攻医募集の詳細について各基幹施設のホームページを参照してください。

当院で小児科研修を行うパターンとしては次の二つのパターンがあります。

パターンA：専門研修1・2年目の研修を名鉄病院で行った場合、原則として専門研修3年目に6ヶ月以上、基幹施設での研修を受けて頂きます。

パターンB：専門研修1・2年目の研修を基幹施設で行った場合、原則として専門研修3年目に6ヶ月以上、名鉄病院（連携施設）での研修を受けて頂きます。